

2018年4月18日  
関西ペイント株式会社

## Kansai Anti-Mosquito Paint が米国 EPA（環境保護庁）の承認を取得

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博社長）は、この度、当社グループの機能性製品である Kansai Anti-Mosquito Paint（カンサイ・アンチモスキート・ペイント）が、米国の環境政策全般を担当する行政機関である EPA（環境保護庁 Environmental Protection Agency）の承認を取得いたしましたので、お知らせします。

Kansai Anti-Mosquito Paint は、含有する合成ピレスロイド系成分が、塗装した場所の蚊を減少させるとともに、蚊を媒介して広がる感染症予防に寄与する製品として、注目が高まっております。同製品内に含有する有効成分が、蚊の神経系に作用し、蚊の運動機能や人を刺す能力を低下させ、その効果を発揮する一方、人に対しては物理的接触、経口摂取のいずれによっても害を及ぼすことはありません。また、自社検証では、その効果は少なくとも 2 年間有効という結果がでています。

加えて、塗装自体の仕上りの良さや多色展開により、家屋の内装用として適しています。

今回、非常に権威ある EPA 承認を取得したことは画期的なことであり、同製品の機能や効果への期待が高く評価されたものと考えております。

また、この承認取得が、同製品の更なる普及につながり、世界的課題である感染症予防に貢献し、人々の暮らしを守り、社会の安心・安全の向上へ寄与できると考えております。

Kansai Anti-Mosquito Paint は、2013 年の開発開始以来、現在は、ウガンダ、ザンビアで同国の行政機関より販売承認を取得しており、また、2018 年夏までには米国でも販売を開始する予定です。

なお、米国での同製品の製造は、当社グループ子会社の U.S. Paint Corporation が行います。

米国では、ジカ熱やウエストナイル熱といった感染症が大きな問題となっていますが、米国内での事業展開にあたり、この EPA 承認が、市場への大きな訴求点となり、その影響がグローバルベースに広がるものと期待しております。

また、同製品の普及は、マラリアやその他感染症予防の推進に寄与することが期待され、独立行政法人国際協力機構（JICA）が進める「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」として採択され、ザンビアにおいて、すでにその活動をスタートしており、多数のお問合せのほか、ビジネスの引き合いなども頂戴しております。

当社グループとしては今回の承認取得を好機としてとらえ、同製品の更なる普及促進を目指してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

関西ペイント株式会社 社長室 副室長 阿部 かるばな  
電話 06-6203-5531 ファックス 06-6203-5018